

## 運輸部

## Point

平成24年3月15日（木）に宮古島市中央公民館において、「バリアフリーを考えるつどい in 宮古島」と題しシンポジウムを開催しました！

# バリアフリーなまちづくりを考えるつどい in 宮古島を開催！



バリアフリーについての関心・理解を増進することを目的として、平成24年3月15日（木）に「バリアフリーなまちづくりを考えるつどい in 宮古島」を開催しました。当日は、宮古島市内の地方自治体職員及び交通事業者、障がい者団体、一般市民の皆様等の約80名が参加しました。

始めに、琉球大学法文学部人間科学科の高嶺豊教授が、「バリアフリーの基本的な考え方」について、県内で初めてバリアフリー基本構想を策定する宮古島市に、県内市町村のリーダーとしての期待を示されました。

アフリー基本構想作成の必要性…障がい者の権利の立場から」と題して講演しました。高嶺教授は、自身がハワイで暮らした時に感じたこととして、日本とハワイでは障がいに対する捉え方が違って、同じ障害がありながら社会でのハンディが違ったこと、身体的な機能障害と社会環境との関係が重要であることをお話されました。また、近年は障害者の権利に対する理解の高まりや、高齢化社会の到来により、社会的・物理的環境をバリアフリーにするという動きが世界的に高まっていることを説明し、県内で初めてバリアフリー基本構想を策定する宮古島市に、県内市町村のリーダーとしての期待を示されました。



気づくこと、声をかけること、相手の思いに添うこと、共に喜び合う（肝心）ことの大切さについてお話されました。実際に白内障体験マスクを着用し、見えにくい色、見ることができ色を確認し、障がいを持つ人たちの接し方についてお話しました。



## ※パネリスト

- 仲根 建作 氏  
(沖縄脊髄損傷者連合会会長)
- 親川 修 氏  
(NPO 法人バリアフリーネットワーク会議代表)
- 長位 鎌二良 氏  
(自立生活センター・まんだ代表)
- 池間 真吾 氏  
(社団法人宮古島観光協会 教育旅行・民泊受入担当)
- 田場 秀樹 氏  
(宮古島市教育委員会教育部長)
- 友利 悦裕 氏  
(宮古島市建設部長)
- ★高嶺 豊 氏  
(琉球大学法文学部人間科学科教授) ★はコーディネーター

最後に、琉球大学の高嶺豊教授のコーディネートの下、沖縄脊髄損傷者連合会の仲根建作会長のほか、各分野を代表するパネリスト（※）ら6名によるパネルディスカッションが行われました。

